

KG神奈川ゆる登山の会報告：第55回 相模原・津久井城山

開催日：2024年2月17日（土）

参加者（卒年、敬称略）永田淳、川崎耕造、山本健夫、井上信子、橋本省子、佐藤義廣、武田陽次、橋本史郎、中桐桂子、矢野和子&ご令嬢、中井義康、高畠均、西山国彦、近藤信彦、柳澤剛、中村文郎囃、松本邦康、田中康弘（計19名）

今回は相模原市のちょうど真ん中に位置する戦国時代の山城「津久井城」の独立峰・城山（標高375m）に登りました。JR横浜線橋本駅からバスで30分、津久井湖畔にある北根小屋から歩き始め、根小屋諏訪神社で安全祈願、自己紹介後、ゆるりと登山開始。舗装された公園道路を経て先ずは津久井城の歴史を学びにパークセンターへ。戦国時代に築城され、小田原北条氏に与しましたが、1590年に豊臣秀吉の小田原攻めに伴い落城しました。2000年前後に行われた発掘調査により曲輪、塹堀、堀切などの遺構が発掘されました。山城だけに山頂までの道は急峻、曇り空ながら汗をかきかき本城曲輪に到着、おやつと飲み物で一息つきました。山頂からは津久井湖や奥多摩の山々を見渡せ、城主の気分になりました。安全な公園道路を下って再びバスで橋本駅に戻り、駅ビル内のトラットリア・エトナマーレでシチリア料理に舌鼓、大いに食べ、呑み、しゃべりました。



次回のお知らせ：3月16日（土）逗子・仙元山と大峰山 Aコース ゆる度1.5 Bコース ゆる度2.0